

取扱説明書

## BBXP-PVDF シリーズ

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。  
安全にご使用いただくため、ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しい操作で弊社製品の性能を十分に発揮させてください。  
誤った取扱いが原因で起こされた事故に関して、当社は責任を負いかねます。十分な理解のもと、弊社製品のご使用をお願いします。  
お読みになったあと、大切に保管してください。  
品質、性能向上、その他の事情で部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容と一部異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

株式会社いけうち

## 1. 注意事項

樹脂製ノズルは金属製などとは異なり、破損しやすい製品です。  
以下の点にご注意ください。

### (1) PVDF について

- 液温及び雰囲気温度は 80℃以下でご使用ください。
- 凍結する環境でのご使用は避けてください。

### (2) ノズル取付上の注意

- ノズル取付け前には、必ず配管のフラッシングなどを実施し、管内の異物を除去してください。
- ノズルのネジ部には、シール剤又はシールテープを使用してください。
- ノズルの取付けは、曲がり管、エルボなどの直後は極力避けてください。乱流の発生により、基準性能から誤差が生じる恐れがあります。
- ノズルの締付けは、最初は手締めとし、正確にねじ込まれたことを確認後、ノズルのスパナ掛けに合った適切な工具にて、軽く増締めしてください。  
推奨締付けトルクは下表を参照してください。

推奨締付けトルク

ネジサイズ	推奨締付けトルク(N・m)
R1/8	0.5~1.0
R1/4	3.0~3.5

### (3) 運転前、運転後の注意

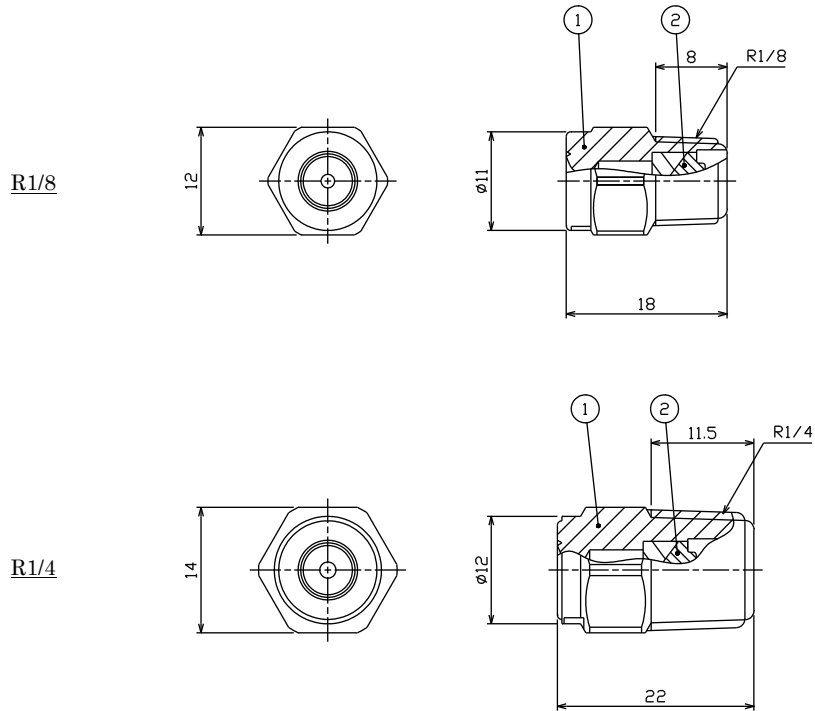
- 薬液噴霧後は清水噴霧し、ノズル噴口部及びノズル内部を洗浄してください。
- 使用液によりノズル目詰まりが心配される場合は、ストレーナーを設けたり、水処理を行ったりしてください。

### (4) ノズル取扱上の注意

- ノズルには傷を付けないでください。
- ノズル噴口部を硬いもの(金属の棒、釘、針など)でつつかないでください。
- ノズルに衝撃や強い力を加えないでください。
- 使用圧力は 0.1~1.0MPa を推奨します。(水撃作用にご注意ください。)
- 保管する時は、ホコリなどのない清浄な場所に保管してください。
- 噴口部側からエアーや液体をかけると、内部のワローが外れることがありますのでご注意ください。

## 2. ノズルの構成

### (1) 部品と材質



(単位 : mm)

No.	名称	材質
1	ノズル本体	PVDF
2	ワローラー	PVDF

注) 形番により形状が若干異なる場合があります。

## 3. 分解要領

分解は汚れのない清浄な場所を選んで実施してください。(部品を紛失しないように、また異物がノズル内部に入らないように、分解前に必ずノズル周囲(表面)の清掃をしてください。)

要領	組付図
①ノズル本体から②ワローラーのつまみをラジオペンチなどでつかんで引き抜きます。外れにくい場合は②ワローラーを回しながら抜いてください。	

注) 形番により形状が異なります。

#### 4. 点検・清掃要領

異物が最も付着しやすいのは噴口部です。注意して付着状態を確認してください。  
各部品に異物が付着している場合は、エアブロー又は柔らかいブラシなどできれいに取  
除いてください。性能が元通りにならないことがあります。

#### 5. 組付要領

要領	組付図
①ノズル本体に②ワーカーの つまみをラジオペンチなどで つかんで押込みます。	

注) 形番により形状が異なります。

#### 6. 故障・異常の原因と対策

ご使用中に異常が生じたら、次の項目をお調べください。  
対策を実施しても元に戻らない場合は、製品を交換してください。

異常状態	原因	対策
噴霧しない又はスプレ ーパターンの異常。	圧力不足。	配管内圧力を確認のうえ、正規使用 圧力にする。
	ノズル又はストレーナーの目詰ま り。	洗浄と清掃(超音波洗浄、エアブロー など)。
噴霧が直進流になる。	ワーカーが組付いてない。	ワーカーを組付ける。
水もれ。	シール剤、シールテープの異常。	シール剤、シールテープの交換、変 更。
	締付け不足。	増締めする。(P.1 参照)

#### 7. 納入後の保証について

本製品の保証期間は、弊社出荷日より1年です。  
明らかに弊社の責任に帰する設計、製作上の原因により不具合が生じた場合、直ちに無償  
にて交換いたします。  
ただし、使用上の誤り、不当な修理、改造、天災などによる場合、及びノズルの目詰まり、  
摩耗など消耗部品の自然消耗は除きます。